



## 2024年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2024年10月25日

上場会社名 東邦レマック株式会社 上場取引所 東  
コード番号 7422 URL <http://www.toho-lamac.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 笠井 庄治  
問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長兼総務部部長 (氏名) 高野 裕一 TEL 03-3832-0132

配当支払開始予定日 —

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第3四半期の業績 (2023年12月21日～2024年9月20日)

#### (1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第3四半期	3,503	△11.7	△11	—	57	—	63	—
2023年12月期第3四半期	3,966	△10.6	△155	—	△140	—	△96	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第3四半期	124.78	—
2023年12月期第3四半期	△189.60	—

#### (2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第3四半期	6,211	4,498	72.4
2023年12月期	5,956	4,443	74.6

(参考) 自己資本 2024年12月期第3四半期 4,498百万円 2023年12月期 4,443百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	53.00	—	53.00	106.00
2024年12月期	—	55.00	—	—	—
2024年12月期(予想)	—	—	—	57.00	112.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2024年12月期の業績予想 (2023年12月21日～2024年12月20日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,400	6.0	5	—	64	—	54	—	106.09

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2024年12月期3Q	512,070株	2023年12月期	512,070株
2024年12月期3Q	3,200株	2023年12月期	3,162株
2024年12月期3Q	508,881株	2023年12月期3Q	509,004株

② 期末自己株式数

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー : 無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本決算に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信 (添付資料) 3 ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第3四半期累計期間	6
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等の注記)	7
(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	7
3. その他	8
継続企業の前提に関する重要事象等	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間におけるわが国経済は、長引く物価高の影響から消費者の節約志向はより高まり、個人消費はやや低調に推移いたしました。円安等を起因とした海外渡航者の増加、インバウンド需要の拡大等を背景に国内景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら長期化するウクライナ情勢や緊迫化の度合いを増している中東情勢等の地政学的リスクを背景とした資源・原材料価格の高騰、円安による物価上昇、さらには世界的な金融引き締めによる世界経済の下振れリスクの影響等、わが国の景気を下振れさせるリスクが多数存在しており、予断を許さない状況が続いております。

靴流通業界におきましては、円安や資材等の価格高騰の影響により商品価格が変わらず上昇傾向にあること、消費者の節約志向が高まってきていることから、企業にとって非常に厳しい経営環境にあります。商品動向につきましては、スニーカーを中心としたスポーツ系カジュアルとウォーキングを中心としたアウトドア系カジュアルが依然として好調を維持しております。

このような状況のもと、当社は婦人靴、紳士靴、ゴム・スニーカー・その他の全て商品群が苦戦をしいられ、売上高は前年同四半期を下回りました。売上総利益につきましては、売上高は減少したものの売上原価を前年以上に抑えることができ、前年同四半期を上回りました。営業損益につきましては、前年を上回る売上総利益を確保できたこと、販売費及び一般管理費を前年以上に削減できたことにより、前年同四半期を上回りましたが、黒字への転換には至りませんでした。

経常損益につきましては、前年を上回る営業外収益を計上できたこと、また営業外費用を削減できたことにより前年同四半期を上回りました。四半期純損益につきましては、経常損益の影響が大きく、前年同四半期を上回りました。

その結果、当第3四半期累計期間の業績は、売上高35億3百万円(前年同四半期比11.7%減)となり、売上総利益は10億33百万円(前年同四半期比2.4%増)、営業損失は11百万円(前年同四半期は営業損失1億55百万円)、経常利益は57百万円(前年同四半期は経常損失1億40百万円)となり、四半期純利益は63百万円(前年同四半期は四半期純損失96百万円)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

流動資産は、前事業年度末に比べ1億円増加し、40億29百万円となりました。これは、主に電子記録債権が1億87百万円減少した一方で、現金及び預金が46百万円、受取手形及び売掛金が1億10百万円及び商品が1億4百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

固定資産は、前事業年度末に比べ1億53百万円増加し、21億81百万円となりました。これは、主に投資その他の資産の投資有価証券が45百万円、投資不動産が99百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、総資産は前事業年度末に比べ2億54百万円増加し、62億11百万円となりました。

##### (負債)

流動負債は、前事業年度末に比べ2億6百万円増加し、13億50百万円となりました。これは、主に支払手形及び買掛金が1億30百万円、短期借入金が1億円増加したこと等によるものであります。

固定負債は、前事業年度末に比べ6百万円減少し、3億62百万円となりました。これは、主に退職給付引当金が9百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は前事業年度末に比べ1億99百万円増加し、17億13百万円となりました。

##### (純資産)

純資産合計は、前事業年度末に比べ54百万円増加し、44億98百万円となりました。これは、主に利益剰余金が8百万円、その他有価証券評価差額金が36百万円、繰延ヘッジ損益が9百万円それぞれ増加したこと等によるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期通期の業績につきましては、天候不順や国際情勢の不安定性等、様々な下振れ懸念はありますが、変更ございません。

なお、今後の業績推移に応じて、修正の必要性が生じた場合には、速やかに公表いたします。

## 2. 四半期財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年12月20日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月20日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,830,177	1,877,113
受取手形及び売掛金	627,821	738,546
電子記録債権	718,032	530,796
商品	712,309	816,955
その他	40,947	66,629
貸倒引当金	△401	△381
流動資産合計	3,928,887	4,029,659
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	148,203	147,591
土地	570,542	570,542
その他(純額)	4,372	5,156
有形固定資産合計	723,118	723,290
無形固定資産		
投資その他の資産	52,608	57,104
投資有価証券	554,883	600,872
投資不動産(純額)	678,038	777,170
その他	20,630	24,012
貸倒引当金	△1,214	△799
投資その他の資産合計	1,252,338	1,401,256
固定資産合計	2,028,065	2,181,651
資産合計	5,956,952	6,211,311
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	96,664	227,299
短期借入金	800,000	900,000
未払法人税等	7,188	12,884
賞与引当金	15,034	31,138
その他	225,585	179,152
流動負債合計	1,144,472	1,350,474
固定負債		
退職給付引当金	168,202	158,554
役員退職慰労引当金	72,450	74,926
その他	128,005	129,126
固定負債合計	368,658	362,607
負債合計	1,513,131	1,713,082

(単位:千円)

	前事業年度 (2023年12月20日)	当第3四半期会計期間 (2024年9月20日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	961,720	961,720
資本剰余金	838,440	838,440
利益剰余金	2,594,586	2,603,126
自己株式	△16,132	△16,303
株主資本合計	4,378,614	4,386,983
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	87,075	123,451
繰延ヘッジ損益	△21,868	△12,205
評価・換算差額等合計	65,207	111,245
純資産合計	4,443,821	4,498,229
負債純資産合計	5,956,952	6,211,311

## (2) 四半期損益計算書

第3四半期累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年9月20日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年9月20日)
売上高	3,966,299	3,503,686
売上原価	2,957,493	2,470,360
売上総利益	1,008,806	1,033,326
販売費及び一般管理費	1,164,600	1,044,376
営業損失(△)	△155,794	△11,050
営業外収益		
受取利息	1	17
受取配当金	6,904	7,081
受取賃貸料	57,506	64,527
為替差益	85	135
保険解約返戻金	111	-
投資事業組合運用益	-	24,416
その他	4,620	5,582
営業外収益合計	69,229	101,760
営業外費用		
支払利息	3,511	2,523
賃貸費用	24,132	28,946
投資事業組合運用損	19,379	-
その他	6,741	2,142
営業外費用合計	53,765	33,612
経常利益又は経常損失(△)	△140,330	57,098
特別利益		
固定資産売却益	24,518	16,625
投資有価証券売却益	21,734	-
特別利益合計	46,253	16,625
特別損失		
固定資産除却損	-	734
特別損失合計	-	734
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失(△)	△94,077	72,989
法人税、住民税及び事業税	2,430	9,488
法人税等合計	2,430	9,488
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△96,507	63,500

(3) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

I 前第3四半期累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年9月20日)

当社は、「シューズ事業」の単一セグメントのため、記載を省略しております。

II 当第3四半期累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年9月20日)

当社は、「シューズ事業」の単一セグメントのため、記載を省略しております。

(キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第3四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。

なお、第3四半期累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期累計期間 (自 2022年12月21日 至 2023年9月20日)	当第3四半期累計期間 (自 2023年12月21日 至 2024年9月20日)
減価償却費	23,693千円	28,503千円

### 3. その他

#### 継続企業の前提に関する重要事象等

当社は前事業年度までにおいて7期連続の営業損失、6期連続で当期純損失を計上していることから、継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

このような状況のもと、当社では当該状況を解消すべく、引き続き下記施策を中心とした「レマックリバイバルプラン」を推進してまいります。

- a. ライフスタイルのカジュアル化やファッションのダイバーシティ化に対応するオリジナルブランドの絞り込みと強化を行う
- b. 発注管理の徹底による在庫削減、及び商品回転率の向上と物流コストの削減を行う
- c. 品質管理体制の見直し、ローカル化することで精度向上と効率化を図る
- d. 働き方改革による一人当たりの生産性向上のために異業種へのアプローチを強化、新たな市場の創造  
・開拓など、管理職を始めとする全社員の意識改革を行う

当第3四半期において、継続して取り組んでいる発注管理及び物流コストの削減に一定の効果があり、営業損益面では改善傾向に向かっております。

なお、現状の当社は、現金及び預金の残高と短期間に資金化可能な債権の残高に加えて、その他にも売却可能な資産も充分ある状況であり、また取引銀行から必要な融資枠を確保できていることから、資金面においても支障はないものと判断しております。

従いまして、当第3四半期会計期間末において、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しております。